

■科 目 トリミング演習 I		■講師名 安保 和美 辻原 尚寿 豊田 理恵 上林 麻里子	
ペットビューティー・ケア科 1 学年 通年 120 コマ (1 コマ 90 分授業) / 総時間 240 時間 / 講義 8 単位			
■学修概要 トリマーとしての基礎を学び、2 学年に進級したのちトリマーライセンス上級の資格取得を目指す。			
■授業目的、到達目標 トリマーの実技修得・トリマーライセンスの資格取得			
■授業方法 指定教科書での講義、実技			
■教科書 (書籍名・出版社) 最新ドッググルーミングマニュアル (ジャパンケネルクラブ)			
■成績評価・講義上の注意 定期試験：実技試験、複数の採点者による大会式採点 成績評価 A : 100～90 B : 89～80 C : 79～70 D : 69～60 F : 59 点以下 (不合格)			
■実務経験 トリミングスクール経営者、トリミングサロン経営者、動物病院勤務者			
■授業計画 (講義の流れ)			
前期		後期	
1	犬を扱うには	16	犬体モデルでのカットイング練習 1
2	道具の取り扱い	17	犬体モデルでのカットイング練習 2
3	犬体モデルでの道具練習 1	18	犬体モデルでのカットイング練習 3
4	犬体モデルでの道具練習 2	19	犬体 (生体) でのカットイング練習 1
5	犬体モデルでの道具練習 3	20	犬体 (生体) でのカットイング練習 2
6	犬体 (生体) での練習グルーミング 1	21	犬体 (生体) でのカットイング練習 3
7	犬体 (生体) での練習グルーミング 2	22	犬体 (生体) でのカットイング練習 4
8	犬体 (生体) での練習グルーミング 3	23	犬体 (生体) でのカットイング練習 5
9	犬体 (生体) での練習グルーミング 4	24	実技試験対策トリミング 1
10	犬体 (生体) での練習ベイジング 1	25	実技試験対策トリミング 2
11	犬体 (生体) での練習ベイジング 2	26	実技試験対策トリミング 3
12	犬体 (生体) での練習ベイジング 3	27	実技試験対策トリミング 4
13	犬体 (生体) での練習ベイジング 4	28	実技試験
14	足まわり	29	年間のまとめ
15	定期試験 (実技)、解説	30	定期試験、回答解説

■科 目		専門専攻講座Ⅱ（3限目）		■講師名		木村 幸一郎	
動物飼育科 2学年							
通年 30 コマ（1 コマ 90 分）／総時間 300 時間／講義 2 単位							
■学修概要							
この授業では、動物飼育業界で役立つために様々な場面において、どのようなスキルや考え方が必要なのかについて知り、野生動物保護および環境教育の分野で必要とされる人材の育成を目標としたい。							
■授業目的、到達目標							
野生動物保護管理に関する方面から「環境教育」へのアプローチを試みることにする。広い視野を持つことの大切さを認識するとともに、将来、業界で役立つために、様々な場面において、どのようなスキルや考え方が必要なのかについて知り必要とされる人材の育成を目的としたい。							
■授業方法							
各回講義及び演習を行う。							
■教科書（書籍名・出版社）							
特に定めはないが、読んでおくのが有用と思われる文献は授業内で紹介する。							
■成績評価・講義上の注意							
研究発表による評価、出席状況なども加味。							
定期試験、成績評価 A：100～90 B：89～80 C：79～70 D：69～60 F：59点以下（不合格）							
■実務経験							
千葉県動物園に勤務							
■授業計画（講義の流れ）							
前期				後期			
1	オリエンテーション			16	各班ごとの研究		
2	講義（野生動物保護管理関連）			17	各班ごとの研究		
3	講義（野生動物保護管理関連）			18	各班ごとの研究		
4	講義（野生動物保護管理関連）			19	各班ごとの研究		
5	講義（野生動物保護管理関連）			20	各班ごとの研究		
6	講義（野生動物保護管理関連）			21	各班ごとの研究		
7	講義（野生動物保護管理関連）			22	各班ごとの研究		
8	講義（野生動物保護管理関連）			23	中間発表		
9	講義（野生動物保護管理関連）			24	各班ごとの研究		
10	講義（野生動物保護管理関連）			25	各班ごとの研究		
11	講義（野生動物保護管理関連）			26	各班ごとの研究		
12	講義（野生動物保護管理関連）			27	各班ごとの研究		
13	講義（野生動物保護管理関連）			28	各班ごとの研究		
14	講義（野生動物保護管理関連）			29	各班ごとの研究		
15	講義（野生動物保護管理関連）			30	各班ごとの研究		

■科 目 専攻専門講座Ⅱ (イルカの行動と管理Ⅱ)		■講師名 北村 正一	
水族館・ドルフィントレーナー科 2 学年 通年 30 コマ (1 コマ 90 分授業) / 総時間 60 時間 / 講義 2 単位			
■学修概要 主に鯨類の能力について学習し、行動パターンや管理方法について学ぶ。			
■授業目的、到達目標 鯨類飼育管理の為の基礎的技術の習得・動物行動について違いなどを学ぶ。			
■授業方法 講義			
■教科書 (書籍名・出版社) 海獣水族館 (東海大学出版会)、海の哺乳類 FAO 種同定ガイド (NTT 出版)			
■成績評価・講義上の注意 定期試験、成績評価 A : 100~90 B : 89~80 C : 79~70 D : 69~60 F : 59 点以下 (不合格)			
■実務経験 1967 年江ノ島水族館 (現・江の島マリンコーポレーション) 入社、現在顧問			
■授業計画 (講義の流れ)			
前期		後期	
1	動物の豊かな心 1	16	鯨類の繁殖 1
2	動物の豊かな心 2	17	鯨類の繁殖 2
3	動物の豊かな心 3	18	鯨類の繁殖 3
4	野生イルカのラビング行動 1	19	鯨類の繁殖 4
5	野生イルカのラビング行動 2	20	鯨類の繁殖 5
6	野生イルカのラビング行動 3	21	給餌の方法 1
7	野生イルカのラビング行動 4	22	給餌の方法 2
8	野生イルカのラビング行動 5	23	給餌の方法 3
9	イルカの物まねについて 1	24	給餌の方法 4
10	イルカの物まねについて 2	25	給餌の方法 5
11	イルカの行動トレーニング 1	26	個体識別について 1
12	イルカの行動トレーニング 2	27	個体識別について 2
13	イルカの行動トレーニング 3	28	個体識別について 3
14	イルカの行動トレーニング 4	29	個体識別について 4
15	イルカの行動トレーニング 5	30	個体識別について 5